

とっとり観光ニュース 2011年9月号

3月11日に発生した東日本大震災により被災された方々に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。鳥取県では、県内施設等への避難者受け入れや、被災地に支援物資をお届けするために職員災害応援隊を派遣する等、被災された方々・地域への様々な支援を行っております。

鳥取県の対応については、以下のWEBページにて随時お知らせしておりますので、ご参考ください。

■東北地方太平洋沖地震への鳥取県の対応／

<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=154943>

■問合わせ先／鳥取県庁危機管理局 危機管理政策課

電話 0857-26-7584 ファクシミリ 0857-26-8137

今後も、県内各機関、全国知事会、関西広域連合等とも連携して、被災地のニーズに対して迅速に対応すべく各種支援を実施していきたいと考えております。

1 学問の秋は鳥取で！～第3回鳥取砂丘検定～

鳥取を代表する観光地「鳥取砂丘」。美しく雄大で見ただけでも大満足ですが、実は、大地の貴重なとなみが観察できるほか、砂丘ならではの貴重な生き物や植物の宝庫でもあります。

そんな鳥取砂丘のいろんな姿を知っていただき、もっとその魅力を知っていただくため「鳥取砂丘検定」が実施されています。3回目になる今回からは、小学生の皆さんでも受験いただける「基礎コース」ができました。一般コースとあわせてご家族での受験もおすすめです。

「「砂漠」とはどう違うの?」、「「風紋」はどうやってできるの?」などなど、鳥取砂丘に関する素朴な疑問やあまり知られていない砂丘の秘密。この機会に学んでいただき、砂丘の奥深さを感じてください。

更に、受験いただいた皆さん全員に「ミニ砂像作り体験チケット」を進呈！是非、鳥取砂丘にお越しいただき、ご家族皆さんでお楽しみください。

受験した後に見る鳥取砂丘が、前よりももっと魅力的に見えるといいですね。



(鳥取砂丘 (鳥取市))

■日時／平成23年11月23日（水・祝）

一般コース：午後3時～午後4時

基礎コース：午後1時30分～午後2時

■会場／鳥取会場：鳥取商工会議所（鳥取市本町3-201）

東京会場：都道府県会館（東京都千代田区平河町2-6-3）

■申込期間／平成23年10月31日（月）まで

■受験料／一般コース 1,000円、基礎コース 500円

■申込方法／受験申込書に必要事項をご記入のうえ、郵便局で受験料を納付してください。

■申込書入手方法／詳しくは問合せ先まで

・鳥取県外の施設：鳥取県東京本部、鳥取県名古屋本部、鳥取県関西本部、食のみやこ鳥取プラザ（東京都港区新橋）、新温泉町山陰海岸ジオパーク館（兵庫県美方郡新温泉町）等

・鳥取県内の施設：鳥取市観光協会、鳥取市観光案内所、鳥取砂丘ジオパークセンター、鳥取県立博物館、山陰海岸学習館、岩美町観光協会、岩美町立渚交流館 等

■問合せ先／鳥取砂丘検定実行委員会事務局（鳥取市観光協会内）電話 0857-26-0756

鳥取県観光政策課山陰海岸世界ジオパーク推進室 電話 0857-26-7236

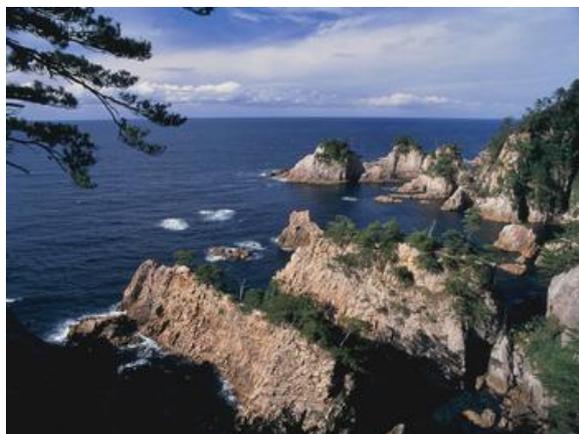
ホームページ <http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=172084>

■特典／受験者：ミニ砂像作り体験チケットを進呈

合格者：合格認定証と特製ピンバッジを進呈（一般コースのみ）

2 スポーツの秋はジオエリアを満喫しよう！

「山陰海岸ジオパーク」が昨年10月に世界ジオパークネットワークに加盟認定されてからもうすぐ1年になりますが、1周年を記念して、ジオパークエリアを歩いて満喫してしまおう！



（浦富海岸（鳥取県岩美町））

という壮大なイベントが開催されます。その名も「山陰海岸ジオパーク110キロウオーク」。5日間をかけて、エリアの東の端「経ヶ岬」（京都府京丹後市）から兵庫県を通過して西の端「白兔海岸」（鳥取市）までを歩きます。また、長距離には体力に自信が無い・・・という方でもご安心を。複数のコースに分かれていますので、各コースごとに参加していただくこともできます。体を動かしながらすがすがしい気持ちで袖志棚田（そでしたなだ）、立岩（たていわ）、

玄武洞（げんぶどう）、竹野海岸、浜坂海岸、浦富（うらどめ）海岸、鳥取砂丘、白兔（はくと）海岸など、山陰海岸ジオパークの豊かな自然と風土を体感してください。

また、ジオパークエリアにある鳥取砂丘では、鳥取砂丘の主要スポットを、走りながら「砂丘クイズ」に答えて鳥取砂丘を楽しもう！という、今年初めて開催される「ALL STARZ（オールスターズ） 駅伝」が行われます。只今参加チームを募集中です。コスプレ、仮装もOKという面白いイベントです。ご興味のある皆さんは是非お申込みください。鳥取砂丘検定の予習ができるかも！？

■日程：平成23年10月4日（火）から10月8日（土）

■コース：①経ヶ岬（京都府京丹後市）～白兔（鳥取市） 136km 1コース

②経ヶ岬～諸寄（兵庫県新温泉町） 99km 4コース（10/4～10/7）
 (26km、28km、24km、21km)

③居組（兵庫県新温泉町）～白兔 37km 4コース（10/8）
 (5km、10km、24km、37km)

※コースの詳細は問合せ先まで

■申込・問合せ

コース	①（10/4～10/7）、②	①（10/8）、③
申込期限	9月21日（水）	9月28日（水）
申込方法・参加費	1日あたり1,000円（※交通費、宿泊費等別途必要）	1,000円（小中高生無料） 参加申込書に記入のうえ申込先まで
申込先・問合せ先	JTB 神戸支店法人営業部 電話：078-366-6170 FAX：078-366-5111	山陰海岸ジオウオーク実行委員会事務局（日本海新聞メディア企画部内） 電話：0857-21-2526 FAX：0857-21-2889

■「第1回鳥取砂丘 ALL STARZ（オールスターズ） 駅伝」

申込・問合せ先／鳥取砂丘 ALL STARZ 駅伝実行委員会事務局（日本海テレビサービス内）

電話：0857-23-1749

ホームページ：http://www.nkt-pro.co.jp/allstarz/

3 芸術の秋は因州和紙のアートを楽しもう！～第6回山陰KAMIあかり～

鳥取県倉吉市にある観光スポット、赤瓦・白壁土蔵群一帯では、和紙を使った「あかり」のアートをお楽しみいただけます。今年で第6回目を迎える「山陰KAMIあかり」。今年も因州和紙を使用したあかりの作品を全国公募して行われる「あかりアートコンテスト」の

作品が町中で展示されるほか、倉吉在住の造形作家によるあかりのモニュメント「KAMI像（カミカタチ）」、（今年は4体目の里見八犬士のモニュメントが登場）、全長25メートルの因州和紙を使った巨大トンネル「福のKAMIトンネル」など様々な形の紙のアートをお楽しみいただけます。



（第5回山陰KAMIあかりの様子）

倉吉の歴史的な町並みと和紙が一体となって幻想的な世界を演出します。和紙のあたたかく優しい「あかり」に演出された、昼間とは違った町並みの魅力を感じていただけます。

■日時／平成23年10月22日（土） 午後5時～午後9時

■場所／赤瓦・白壁土蔵群一带（倉吉市）

■内容／「あかりアートコンテスト」、「KAMI像（カミカタチ）」、「福のKAMIトンネル」、「白壁スクリーンアート」、その他（ステージイベント、屋台等）

■問合せ先／山陰KAMIあかり実行委員会（倉吉商工会議所内）

電話：0858-22-2191

ホームページ：<http://www.kami-akari.com/akari.html>

■因州和紙／<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=95609>

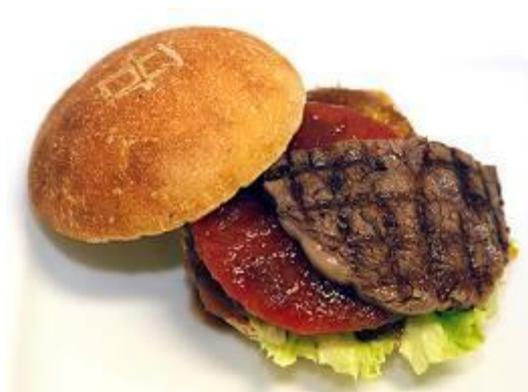
※関連施設 紙漉き体験ができます。詳しくは各施設へお問合せください。

・あおや和紙工房（鳥取市青谷町山根 313、0857-86-6060）

<http://www.tbz.or.jp/aoya-washi/>

・かみんぐ佐治（鳥取市佐治町大字福園 146-4、0858-89-1816）

4 とっとりバーガーフェスタ@東京タワー



（※写真はイメージです）

7月号でご紹介した全国最大のご当地バーガーの祭典「とっとりバーガーフェスタ」が、本番を前に、東京タワーで開催されることになりました！鳥取予選を勝ち抜いたチームが腕をふるい、ここでしか食べられないご当地バーガーとして限定1000食を販売。鳥取県産の食材を使ったバーガーはどれもオリジナリティ豊か。鳥取での本番前にいち早くご当地バーガーを味わっていただけるチャンスです。

先日取県予選も終了し、本選参加の鳥取代表10店

舗が決定しました。県外30店舗とあわせて40店舗が、秋の大山を舞台に「日本一のご当地バーガー」の称号めざし、熱きバトルを繰り広げます。日本一は誰の手に！その決定的瞬間をお見逃しなく！

■日時／平成23年9月18日（日）午前11時～午後3時

■場所／東京タワー1階（正面玄関前 特設会場）

■問合せ先／若い鳥取県応援団 団長：岸浩之 電話 090-4699-3281

鳥取県東京本部総務行政チーム 電話 03-5212-9077

■「とっとりバーガーフェスタ」vol. 3

・日時：平成23年10月8日（土）～9日（日）

・場所：大山桧水高原（伯耆町）、奥大山スキー場（江府町）、大山寺博労座（大山町）の3会場

・問合せ先：とっとりバーガーフェスタ実行委員会（大山王国事務局内）

電話：0859-68-3091

ホームページ：<http://www.tottori-bf.jp/>

5 遂に完成！ご当地グルメ「四季の海力（かいりき）めし」

鳥取の海の幸を贅沢に使ったご当地グルメシリーズ「四季の海力（かいりき）めし」。海の幸を豪快に味わっていただきたい、見ても食べてもパワーみなぎるパワフル海鮮料理を提案したい、という想いで名づけられました。いよいよ秋メニューとして第4弾「鰯（あじ）と白ハタの海力めし」が登場！鰯の刺身と沖漬け、白ハタのあぶりを贅沢に盛った大鉢丼、みそ汁、香の物の3品セットのほか、トロハタの焼物とデザートを加えた5品セットが用意されています。中でも大鉢丼に盛られる白ハタのあぶりは、脂ののりが高くとろけるような食感で絶品だそうです。9月10日から11月10日までの期間限定！

賀露みなと観光協会（山田哲彦会長）と鳥取市観光協会の企画により、これまで「子持ちガニの海力めし」（冬）、「猛者えびの海力めし」（春）、「岩ガキと白イカの海力めし」（夏）のメニューが登場しましたが、今回秋メニューが加わり、これで「四季の海力めし」シリーズが遂に完成！四季を通じて鳥取の旬の味をお楽しみいただけるようになりました。ご当地バーガーや海の幸。この秋、鳥取の多彩なご当地グルメ満喫・満腹の旅で決まりですね。



（「鰯と白ハタの海力めし（5品）」）

■問合せ先／賀露みなと観光協会

電話：090-5709-8205、0857-28-1004

6 冬の味覚「松葉がに」のシーズン到来！

毎年11月に解禁になると、鳥取沖や境港沖を中心にカニ漁でにぎわいます。水揚げされた松葉がには、まさに鳥取の冬の風物詩となっています。「松葉がに」とは成長したズワイガニの雄で山陰地方の名称です。北陸地方では「越前がに」と呼びます。「松葉がに」という呼び名が雌雄を含めた総称として使われることもありますが、正確には成長しきった雄を「松葉がに」、雌を「親がに」または「子持ちがに」、脱皮して間もない雄を「若松葉がに」と呼んで区別しています。



「松葉がに」は殻が固く、ずっしり重くてハサミが太いものです。「若松葉がに」は脱皮後間もないので、殻が柔らかいのが特徴です。値段が「松葉がに」と比べて安いので、地元では隠れた人気者です。また「親がに」はお腹のフタが丸く、卵を抱えています。外から見えるのが「そとこ」と呼ばれる卵巣です。「親がに」の味噌汁は鳥取では家庭料理として馴染み深い料理です。かに

すき、かに刺身、焼きがに、かに味噌など、今年の冬は「松葉がに」の地元・鳥取で、かに三昧しませんか！

■品名／「松葉がに（まつばがに）」

■旬／11月から3月

■水揚げ港／境港、鳥取港、網代港

■ホームページ／<http://yokoso.pref.tottori.jp/dd.aspx?itemid=1109>

7 「まんが王国とっとり」を旅して応援してください！

来たる2012年11月に第13回国際マンガサミットが開催される鳥取。「まんが王国とっとり」として全国区となり、鳥取といえばまんがとして皆さんに認めていただけるようになるために、「まんが王国とっとり応援団」を募集しています。応援していただける方ならどなたでも大歓迎です。口コミやブログなど、皆さんが今お持ちのツールを使ってできる範囲で、「まんが王国とっとり」や鳥取県の魅力を発信してください！



（「まんが王国とっとり」応援団の団員証）

応援していただける方ならどなたでも大歓迎です。口コミやブログなど、皆さんが今お持ちのツールを使ってできる範囲で、「まんが王国とっとり」や鳥取県の魅力を発信してください！ 応援団になっていただいたかたには団員証をお渡しするほか、県内のまんが関連施設の入館割引が受けられます（※詳しくは問合せ先まで）。

また、8月号でお伝えした舞台「ゲゲゲの女房」が、水木しげる先生の出身地、境港市で上演されることが決定しました。観劇と併せてゆかりの地をめぐっていただくと、また違った感動を味わうことができるのではないのでしょうか。鳥取県内には、「水木しげる記念館」、「青山剛昌ふるさと館」のほか、漫画家谷口ジロー先生を中心とした漫画コーナーがある「わらべ館」（鳥取市）があります。

来年の国際マンガサミットの舞台となる鳥取を、「まんが」をキーワードに旅してみませんか。自然やグルメとはまた少し違った魅力を感じてみてください。

■「まんが王国とっとり」応援団募集

- ・ 応援活動の内容／ロコミ、ブログ等での「まんが王国とっとり」、鳥取県のPR
- ・ 年会費等／無料
- ・ 問合せ先／鳥取県観光政策課 まんが王国とっとり推進室

電話：0857-26-7238

- ・ ホームページ／<http://yokoso.pref.tottori.jp/dd.aspx?menuid=3032>

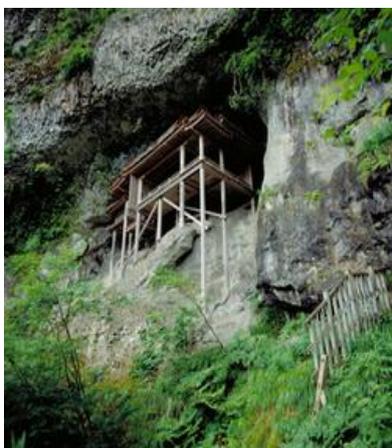
■舞台「ゲゲゲの女房」境港での上演

- ・ 日時／平成23年9月23日（金・祝）
- ・ 開演時間／2回公演（11:00～、15:00～）
- ・ 会場／境港市民会館
- ・ 料金等／全席指定6,000円（税込）※未就学児童不可
- ・ 問合せ先／日本海テレビ 0857-27-2111

ホームページ <http://nkt-tv.co.jp/event/index.html>

- ・ 参考／<http://www.sakaiminato.net/site2/page/event/others/stagegegege/>（境港市観光協会）

コラム 鳥取の宝、三徳山の魅力を未来へ引き継ぐために



（三徳山三佛寺 投入堂）

世界遺産登録を目指している三徳山（鳥取県三朝町）は、県内唯一の国宝建造物「三佛寺・投入堂」をはじめとする多くの貴重な文化財と貴重な自然、更に人々によっていとなまれてきた行事など多様な魅力を今に伝えており、一帯は史跡名勝に指定されています。現在、県内外からの多くの観光客で賑わう三徳山ですが、千年以上にわたってその素晴らしい姿を守り続けてきた先人たちの不断の努力を、これからも未来に引き継いでいかなければなりません。

今回、三徳山を後世に伝え、もっと多くの皆さんにその魅力を発信しつづけていくため、三徳山を保全と活用という側面から考えるシンポジウムが開催されます。三徳山の貴重な姿をいかにして守っていくのか、一緒に考えてみませんか。

■日時／平成23年10月9日（日）午後1時から4時

■会場／新日本海新聞中部本社ホール（倉吉市上井町）

■申込・問合せ先／鳥取県文化観光局観光政策課

電話：0857-26-7421、FAX：0857-26-8308

編集・発行：鳥取県文化観光局観光政策課 電話 0857-26-7237 FAX 0857-26-8308 E-mail kankou@pref.tottori.jp

発行年月日：平成23年8月26日 県内外のマスコミ関係者の皆様に、地元の視点から県内観光スポットや関連イベント等を紹介します。この観光ニュースは、マスコミ等の皆様へ定期的にお届けし、記事等の参考にさせていただけるように心掛けて作っています。しかしながら、紙面には限りがあります。不明なところなどは気軽にお問い合わせくださいますようお願いいたします。複製・転載可。（一部画像を除く。）

－鳥取県観光情報はこちらから → <http://yokoso.pref.tottori.jp/>